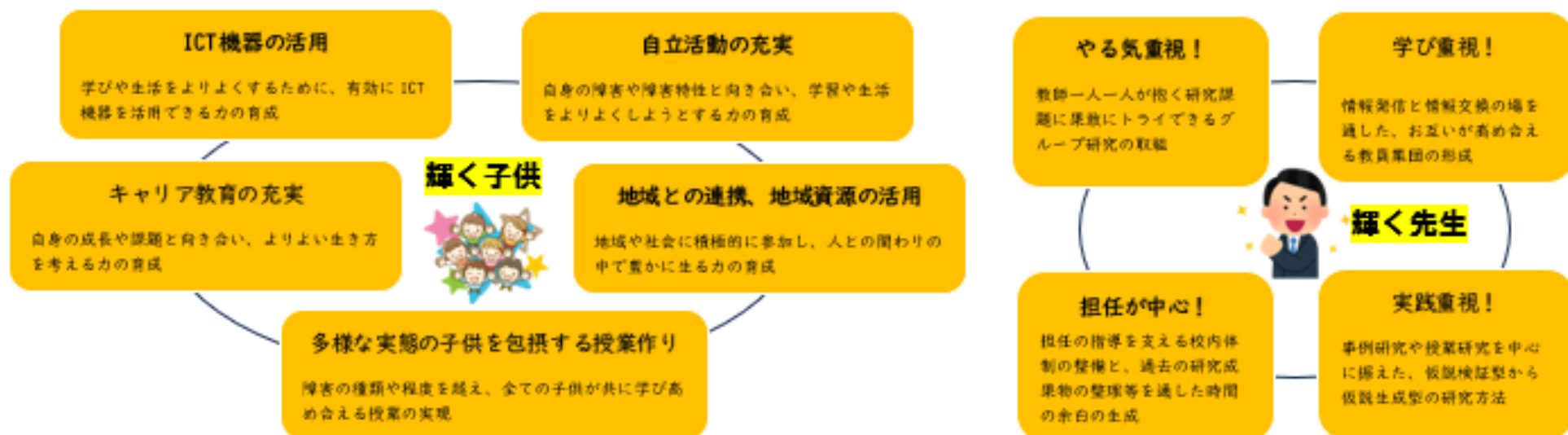


本校の第26次研究について

本校の研究

令和4年 ～令和6年	【第25次研究】 生涯をとおして自ら学ぼうとする 子供を育てる授業の在り方
令和7年～	【第26次研究】 子供も教師も一人一人の個性が光る・生きる 教育実践を目指して ～多様な子供たちを包摂するこれからの特別支援教育の在り方～

子供も教師も一人一人の個性が光る・生きる教育実践を目指して ～多様な子供たちを包摂するこれからの特別支援教育の在り方～



第26次研究でめざすもの

- 全ての障害のある子どもが学校や社会で生き生きと学び生活できることを目指し、多角的で具体的な視点から教育実践研究に取り組む
- 子供の成長を支える教師が自己の研修課題と向き合い、子供の変容から自己の実践の成果を実感して指導への活力を得られる教育実践に取り組む

背景

社会的背景

特別支援教育が対象の児童生徒の増加と実態の多様化

日々変化する時代や最新技術への対応と新たな指導内容

教師の志願者減少と若手を中心とした離職者の増加

障害の重い方を中心として社会参加が進みにくい現状

校内の現状と課題

知的障害の重い子供や自閉症の子供への指導や授業の悩み

知的障害以外の子供の在籍率の増加

学習評価の在り方の検討の不十分さ

キャリア教育を充実させたい思いと実際の指導で感じる難しさ

第26次研究のテーマ設定の背景

子供も教師も一人一人の個性が光る・生きる教育実践を目指して

～多様な子供たちを包摂するこれからの特別支援教育の在り方～

社会的背景

特別支援教育
が対象の児童
生徒の増加と
実態の多様化

日々変化する
時代や最新技
術への対応と
新たな指導内
容

教師の志願者
減少と若手を
中心とした離
職者の増加

障害の重い方
を中心として
社会参加が進
みにくい現状

第26次研究のテーマ設定の背景

子供も教師も一人一人の個性が光る・生きる教育実践を目指して

～多様な子供たちを包摂するこれからの特別支援教育の在り方～

校内の現状

知的障害の重い子供や自閉症の子供への指導や授業の悩み

知的障害以外の障害を有する子供の在籍率の増加

学習評価の在り方の検討の不十分さ

キャリア教育を充実させたい思いと実際の指導で感じる難しさ

第26次研究のテーマ設定の背景

- ・学校（子供、教師）を取り巻くたくさんの社会的背景
- ・解決が必要なたくさんの校内の課題
- ・教師の負担感への対応



第26次研究でめざすもの

- 全ての障害のある子どもが、学校や社会で生き生きと学び生活できることを目指し、多角的で具体的な視点から教育実践研究に取り組む
- 教師一人一人が自己の研修課題と向き合い、子供の変容から自己の実践の成果を実感して指導への活力を得られる実践中心の研究に取り組む

第26次研究における取組

子供一人一人が輝くことを目指した
教育実践の蓄積と成果の検証

ICT機器の活用

自立活動の充実

キャリア教育の
充実

地域との連携と
地域資源の活用



輝く子供

多様な実態の子供を包摂する
授業作り

教師一人一人が輝くことを目指した
研究方法の見直しと校内体制の整備

やる気重視！

教師一人一人が抱く研究
課題に果敢にトライでき
るグループ研究の取組

学び重視！

情報発信と情報交換の場
を通した、お互いが高め
合える教員集団の形成



担任が中心！

担任の指導を支える校内
体制の整備と、過去の研
究成果物等の整理を通し
た時間と気持ちの余白の
生成

輝く先生

実践重視！

事例研究や授業研究を中
心に据えた、仮説検証型
から仮説生成型の研究方
法

各研究グループのテーマ

子どもの表現力を豊かにする、発達段階を踏まえたICT機器の活用

子供一人一人の学びと生活を支える自立活動の指導の充実
～チームで捉える行動の背景と指導の方向性～

地域とともにある附属特別支援学校を目指して
～地域における学びの実践を通して、成果と課題の整理～

子ども一人一人の自己理解を高めるキャリア教育の充実
～キャリアパスポート(SSB)シートの工夫と活用～

児童生徒一人一人が見通しをもって意欲的に取り組むことができる授業づくり
～自信につなげる自己選択・自己決定支援～